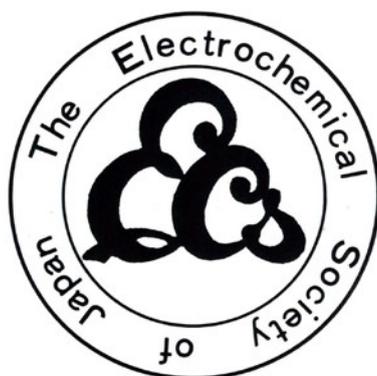


電気化学会北陸支部 維持会員加入のご案内



電気化学会北陸支部

令和5年3月

1. 電気化学会の紹介 (※電気化学会 HP より抜粋)

本会は「電気化学に関する産業・学術の進歩発展を図る」ことを目的に、昭和 10 年 (1935 年) 2 月、通産省と文部省の認可により社団法人「電気化学協会」として設立されました。本会の使命は、電気化学の基礎と応用に関する研究の推進と、それを基礎とする産業技術の進歩を図り、学術文化の向上と産業の振興に寄与することです。

設立以後、電気化学も工業物理化学一般も、学問・技術の両面で飛躍的な進歩を遂げると同時に、わが国の産業を取りまく諸条件も多様な変化を見せた結果、本会のカバーする領域も、半導体など電子材料分野、さらには超伝導材料、電気自動車、燃料電池といった新材料や技術、またセンサ、生物工学なども網羅する学術上の広がりを見るに至り、これに鑑み平成 8 年、電気化学会へ改称いたしました。

また、社団法人電気化学会は平成 23 年 12 月 27 日付けで内閣総理大臣より公益社団法人移行の認定を受け、平成 24 年 1 月 4 日より公益社団法人として、新たに発足いたしました。

2. 北陸支部 50 年の歴史

(※引用：「電気化学会 60 年史」および「Electrochemistry 誌 展望 (2011 年発行 79 巻 11 号 861 頁)」)

富山・石川・福井は昭和 34 年までは電気化学会中部支部に、新潟は関東支部に所属していました。北陸には豊富な水力発電による電力があり、この地の利を背景に電気化学関係の工場が多く、産業界と学会との接触も緊密でありました。このため、電気化学会中部支部内に北陸部会が設けられ、昭和 30 年秋には金沢で、32 年秋には富山で、34 年秋には福井で、中部支部北陸地方大会が盛大に開催されました。

次第に北陸支部設立の機運が高まり、昭和 35 年 7 月に、北陸支部の設立が本部幹事会・評議会で承認されました。続いて同年 10 月に北陸支部総会が開催され、支部規約の承認、新役員を発表、初代支部長に電気化学工業 (株) 谷口正夫氏をお迎えして、電気化学会北陸支部が発足いたしました。その後、企業関係者と大学関係者が交互に 2 年任期で支部長に就任することにより、現在の支部長に至るまで、電気化学会北陸支部の伝統を踏襲してまいりました。

3. 支部長挨拶

令和 5 年、6 年度の電気化学会北陸支部・支部長の役を預かりました、北陸先端科学技術大学院大学の高村 禪です。よろしくお願いいたします。

電気化学会北陸支部は新潟、富山、石川、福井の 4 県で活動する会員で構成されています。会員数も少ない小さな支部ですが、電気化学会でも屈指の長い歴史を持つ支部で、令和 5 年度はコロナで延期されていた創立 60 周年記念大会も予定しています。水資源に恵まれて電力が豊富な北陸の地では、古くから電気化学工業が盛んで、電気化学に関する実践的な専門知識を豊富にお持ちの企業の技術者・研究者の方も多いです。そのため、支部設立当時から産学が密接に連携して活動してきたと聞いております。規模の小ささを活かした特徴的な活動も行っており、特に春と秋の大会では、産と学、ベテランと若手が電気化学について真剣な議論を交わしています。他支部の皆さまやご興味を持っていただいた非会員の皆様も是非ご参加いただければ幸いです。

新型コロナウイルス感染拡大による制限からも、ようやく解放される兆しがあります。ウイズコロナ時代で築かれた良いところも取り入れ、執行部・幹事の皆様と協力して少しずつ支部の活動を再開・拡大していきたいと思っております。北陸支部の益々の発展と若手研究者の育成、および支部会員相互の親睦に、微力ではありますが尽力していきたいと思っておりますので、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

4. 支部活動紹介

◇通常総会 1月

- ・総会 ・幹事会 ・懇親会

今年度 事業報告、会計報告

次年度 事業計画、予算案

次年度 春季大会・秋季大会案

その他 検討事項 等

※例年、富山市パレブラン高志会館にて開催



(会議室) パレブラン高志会館 HP より

◇春季大会

- ・情報交換会
- ・シンポジウム1部
(若手の会・夜なべ談義)
- ・シンポジウム2部(講演会)
- ・幹事会



◇夏の学校

(他支部行事参加への支援)

※支部より補助金支援

電気化学会関東支部主催

(1泊2日、学生対象)

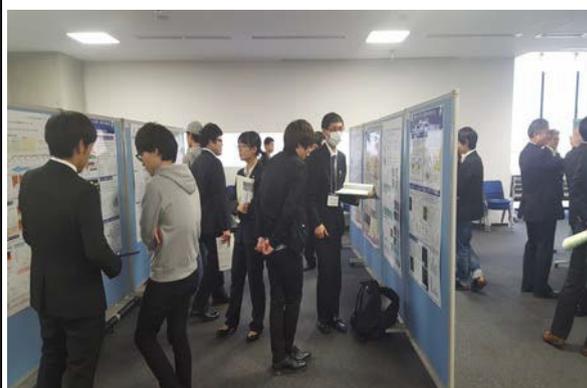
招待講演、ポスター発表会、

ディスカッション



◇秋季大会

- ・研究発表会 (若手・一般)
- ・情報交換会
- ・幹事会



5. 幹事紹介 (令和5年～令和6年度)

支部長 : 高村 禪

(北陸先端科学技術大学院大学 バイオ技能医工学研究領域)

専門分野: ナノバイオサイエンス, ナノ材料科学

総務幹事: 山口 孝浩

(金沢大学 理工研究域 物質化学系)

専門分野: 電気化学、機能物性化学

会計幹事: 廣瀬 大亮

(北陸先端科学技術大学院大学 バイオ技能医工学研究領域)

専門分野: ナノ材料科学

6. 維持会員加入について

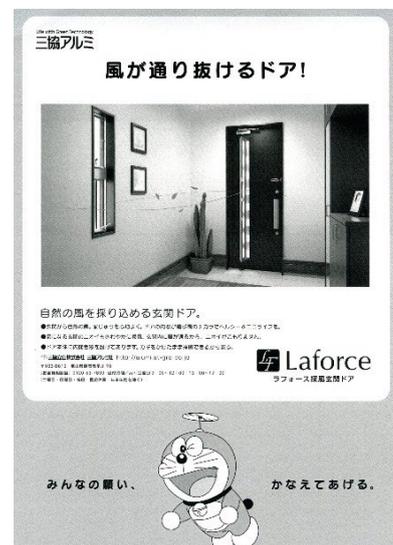
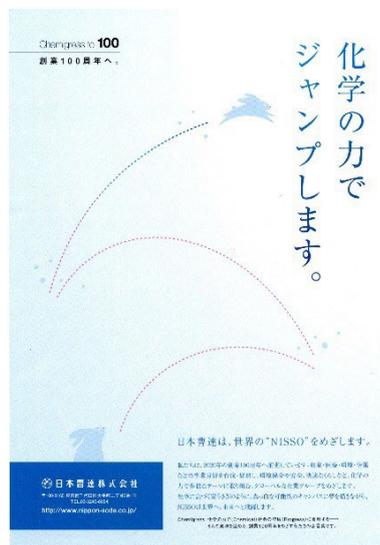
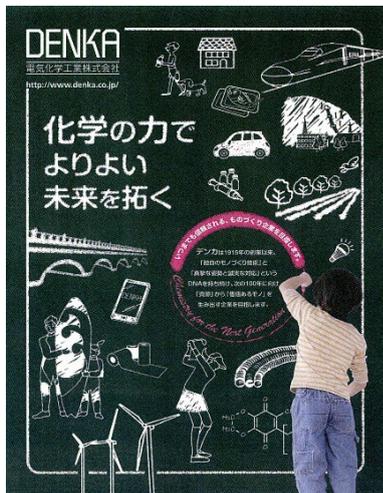
維持会費:

- ◆ 一口 10,000 円とし、口数の上限は定めない。
- ◆ 年度初めに銀行振り込みにて納入。

メリット:

- ◆ 電気化学分野の専門家よりアドバイスを受けることができる。
- ◆ 春季大会・秋季大会等の行事に参加し、ディスカッションできる。
- ◆ 北陸支部ホームページに支援企業としてリンク掲載される。
- ◆ 各大会の予稿集に企業広告を掲載できる。

(広告例)



7. 問い合わせ先

〒920-1192 金沢市角間町 自然科学1号館

金沢大学金沢大学理工研究域

電話：076-234-4772

総務幹事 山口 孝浩 e-mail：t-yamagu@se.kanazawa-u.ac.jp

※電気化学会ホームページ URL：<http://hokuriku.electrochem.jp/index.html>

* 維持会員入会の申込は、令和5年度支部長の**高村 禪**までお願いします。

連絡先：〒923-1292 能美市旭台1-1

北陸先端科学技術大学院大学

電話：0761-51-1661

支部長 高村 禪 e-mail：takamura@jaist.ac.jp